

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	宇多津町における水環境を保全する安全・安心な地域づくり													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	宇多津町													
計画の目標	生活環境の改善や、公衆衛生を向上させることにより、地域の安全・安心を創出するとともに、瀬戸内海をはじめとした公共用水域の水環境を保全する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		111	A	111	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	宇多津町の下水道処理人口普及率を88.7%（R2当初（H30末））から89.3%（R6末）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率（‰）	887‰	889‰	893‰
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宇多津町	直接	宇多津町	管渠（ 汚水）	新設	第3処理分区	管渠新設 L=0.5km	宇多津町						111		-
											小計						111		
											合計						111		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

宇多津町地域整備課

事後評価の実施時期

令和7年11月

公表の方法

宇多津町ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・計画期間内に5.6haの処理区域面積を供用開始
・人口減少かつ、下水道計画区域外での宅地開発が進みそこへ人口が流れたことにより普及率は1.4%減少したが、地道な水洗化普及活動により水洗化率は0.3%増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

・引き続き、効率的な污水管布設を行い地域の安全安心を創出し、快適なまちづくりに努めていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	893‰	下水道が利用できる地域の人口が減少したため。
	最 終 実績値	874‰	